

論文概略

論文タイトル	Change in passive ankle stiffness and its effects on gait function in people with chronic stroke	
掲載誌名	Journal of Rehabilitation Research and Development	
巻号項	Volume 50	Number 4 Page 555
出版年	2013 年	
支援機器	Ankle training robot	
分類(ISO9999)	6	
試験相	2	
研究仮説 (目的) の概要	6 Wの anklebot トレーニングの後、麻痺側の受動的足首剛性は訓練された失状面の動作が変化する。座位トレーニングで生じる受動的剛性は歩行のような機能的には移らず改善を与えない	
研究デザイン	群内比較 (自己対照)	
障害・疾患	片麻痺	
対象者・数	障害者 8 人	
主要アウトカム	剛性、歩行、足首の運動制御	
副次アウトカム 1		
副次アウトカム 2		
副次アウトカム 3		
副次アウトカム 4		
副次アウトカム 5		
統計学的検定	有	
結果の概要	anklebot トレーニングにより失状面、前額面の P A S を減少させ、一般高齢者の範囲内となった。P A S の変化により歩行速度の改善が期待できる	
論文整理番号	206	※正確な情報が必要な場合には、元の論文を確認してください。

「支援機器の臨床評価および利用効果データベース」
支援機器イノベーション創出のための情報基盤構築に関する研究
(H26～28 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業)

国立障害者リハビリテーションセンター